

私と絵本との出会い

1 美術史と絵本

近世～近代の日本絵画史

- ・桃山期の障壁画 狩野山雪筆「雪汀水禽図屏風」「老松図屏風」
- ・浮世絵＝世界初の大量生産の美術 歌川国芳 月岡芳年
- ・絵本＝近代における印刷美術の一側面
- ・明治以降の絵本の表現の変遷・進化一庶民の生活・意識の変化のあらわれ
- ・豊かな表現性と創造性を持った、重要な表現文化の一分野 歴史を語る貴重な資料

2 絵本との最初の出会い 幼年時代の絵本体験～毎日の読書習慣―両親に読んでもらおう楽しさ

3 アートとの出会い―少年時代

1962「ルーヴルを中心とするフランス美術展」ギュスタヴ・クールベとの出会い―写実絵画

1964「ダリ展」サルバドール・ダリ―シュルレアリスム絵画との出会い

1966「ミロ展」ホアン・ミロとの出会い―夢・生命の喜びのイメージの創出

4 アートとしての絵本との出会い―藝大時代

1969 “*little blue and little yellow*” by Leo Lionni 1959

1974 『花さき山』（斎藤隆介/作 滝平二郎/絵 岩崎書店 1986）

5 絵本の発見―子育て時代

1985 『しょうぼうじどうしゃじぶた』（渡辺茂男/作 山本忠敬/絵 福音館書店 1963）

1985 『ぐるんぱのようちえん』（西内みなみ/作 堀内誠一/絵 福音館書店 1965）

6 未知の美術分野との出会い―我が子の成長とともに

1985～1988

『かさじぞう』（瀬田貞二/再話 赤羽末吉/画 福音館書店 1961）

『おおきなかぶ』（内田莉莎子/再話 佐藤忠良/画 福音館書店 1962）

『かばくん』（岸田衿子/作 中谷千代子/絵 福音館書店 1962）

『ふしぎなたけのこ』（松野正子/作 瀬川康男/絵 福音館書店 1963）

『てぶくろ』（エウゲーニー・M・ラチョフ/作 内田莉莎子/訳 福音館書店 1965）

『あおくとときいろちゃん』（レオ・レオーニ/作 藤田圭雄/訳 至光社 1967）

『プンクマインチャ』（大塚勇三/再話 秋野亥左牟/画 福音館書店 1968）

『ごろはちだいみょうじん』（中川正文/作 梶山俊夫/絵 福音館書店 1969）

『なつのあさ』（谷内こうた/文・画 至光社 1969）

『花さき山』（斎藤隆介/作 滝平二郎/絵 岩崎書店 1969）

『わたしのワンピース』（にしまきかやこ/えとぶん こぐま社 1969）

『ふきまんぶく』（田島征三/作・画 偕成社 1973）

『ねずみくんのチョコッキ』（なかえよしを/作 上野紀子/絵 ポプラ社 1974）

『いちご』（新宮 晋/作 文化出版局 1975）

『かさ』（太田大八/作・絵 文研出版 1975）、

『はらぺこあおむし』（エリック・カール/作 もりひさし/訳 偕成社 1976）

『はじめてのおつかい』（筒井頼子/作 林明子/絵 福音館書店 1976）

『きんぎょがにげた』（五味太郎/作 福音館書店 1977）

- 『100万回生きたねこ』(佐野洋子/作・画 講談社 1977)
- 『もこ もこもこ』(谷川俊太郎/作 元永定正/絵 文研出版 1977)
- 『あさえとちいさいもうと』(筒井頼子/作 林明子/絵 福音館書店 1979)
- 『やこうれっしゃ』(西村繁男/作 福音館書店 1980)
- ※『エンとケラとブン』(いわむらかずお/作 あかね書房 1982)
- 『きょうはなんのひ?』(瀬田貞二/作 林明子/絵 福音館書店 1979)
- 『まじょのかんづめ』(佐々木マキ/作 福音館書店 1994)

7 絵本との再会—美術研究の一環として

1988 月刊絵本「こどものとも」の研究に着手

- 『ビップとちょうちょう』(与田準一/作 堀文子/画 福音館書店 1956)
- 『おなかのかわ』(鈴木三重吉/訳 村山知義/画 福音館書店 1958)
- 『くろうまブランキー』(伊東三郎/訳 堀内誠一/画 福音館書店 1958)

8 絵本原画との出会い—絵本原画展の企画・監修者として

1989 「絵本原画展『こどものとも』にみる絵と詞の新世界」

- 『スーホのしろいうま』(大塚勇三/再話 赤羽末吉/画 1961)
- 『くわずにようぼう』(稲田和子/再話 赤羽末吉/画 1977)
- 『おおきなかぶ』(内田莉沙子/再話 佐藤忠良/画 1962)
- 『ぐりとぐら』(中川李枝子と大村百合子/作 1963)
- 『しんせつなともだち』(方 軼羣/作 君島久子/訳 村山知義/画 1965)
- 『ぐるんぱのようちえん』(西内みなみ/作 堀内誠一/画 1965)
- 『のろまなローラー』(小出正吾/作 山本忠敬/画 1965)
- 『いちごばたけのちいさなおばあさん』(わたりむつこ/作 中谷千代子/画 1973)
- 『やっぱりおおかみ』(ささき まき/作・画 1973)
- 『ごろごろにゃーん』(長新太/作・画 1976)
- 『はじめてのおつかい』(筒井頼子/作 林明子/画 1976)
- 『おふろやさん』(西村繁男/作・画 1977)
- 『さんまいのおふだ』(水沢謙一/再話 梶山俊夫/画 1978)
- 『ながれぼしをひろいに』(筒井頼子/作 片山健/画 1987)

☆主な絵本原画展のテーマ☆

- 1992「林明子の世界」林明子
- 1993「中谷千代子—夢のパレット」中谷千代子
- 1994「絵本に魅せられた女性たち」五十嵐豊子・こいでやすこ・さとうわきこ・垂石眞子・山脇百合子
- 1995「愛がみえる・元気をくれる絵本たち」
瀬川康男・元永定正・長新太・西村繁男・太田大八・秋野亥左牟・スズキコージ・梶山俊夫・林明子
- 1996「長新太の魅力」長新太
- 1998「新しい表現者たち」「絵本界のニューウェーブ」スズキコージ・飯野和好・高部晴市・荒井良二
- 1999「夢を紡ぐ女性たち」佐野洋子・上野紀子・西巻茅子
- 2000「こどもの魂を描く～ほりうちせいいち」堀内誠一
- 2001「かすや昌宏—魂のきらめきを描く—」かすや昌宏
- 2004「梶山俊夫 絵本と絵巻の世界」梶山俊夫

9 永遠に遺していきたい絵本との出会い

- 『たいせつなこと』(マーガレット・ワイズ・ブラウン/作 レナード・ワイズガード/絵 うちだやこ/訳 フレーベル館 2001)(1949)
- 『あさになったので まどをあけますよ』(荒井良二/作・絵 偕成社 2011)

☆あらゆる世代に開かれた文化財☆